

摩利支天塚古墳(小山市)

正面が摩利支天塚古墳/前方後円墳/左手前が後円部、右奥が前方部/後円部の墳頂に社殿が見える



前方部に回ると、標柱に「摩利支天尊」とある



説明板が立っている



5世紀末から6世紀初頭の築造/二段築成で、二重の周溝が巡っている

史跡 摩利支天塚古墳

摩利支天塚古墳は、隣接する琵琶塚古墳とともに県内で最大の規模を誇る大形の前方後円墳です。後円部の墳頂には後年になって摩利支天社が祠られ、今に至っています。

墳丘は自然の微高地を利用して築かれたもので、その周囲には幅20mを越える大規模な周溝がめぐらされています。この周溝は調査の結果、部分的に二重になっていることがわかりました。

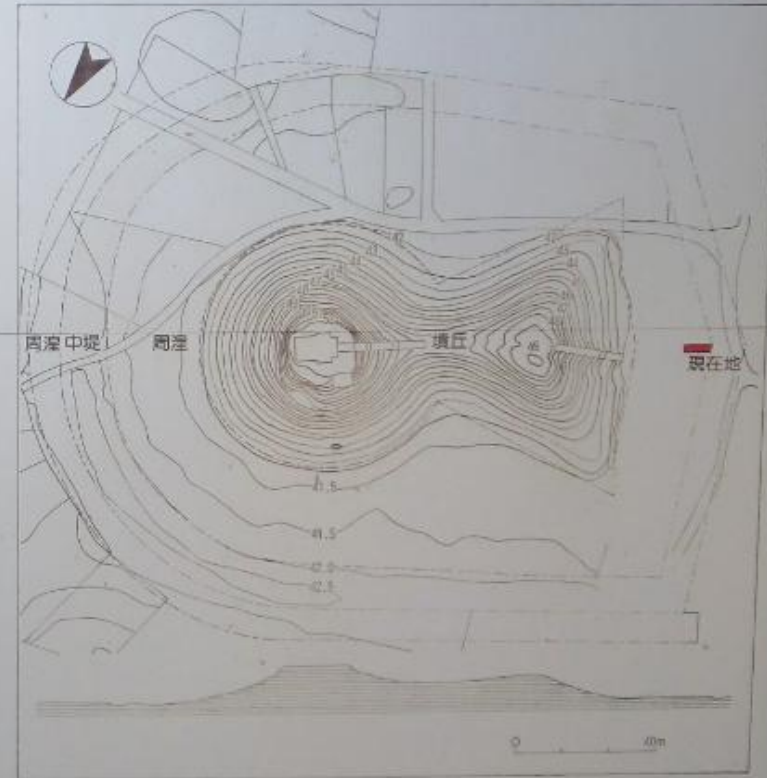
また墳丘上には、円筒埴輪が列を成して存在していました。これらの埴輪や古墳の形状などから、この古墳の築造年代は、5世紀末から6世紀初頭と推定されます。

このような巨大な古墳の被葬者は、大和王権による支配体制の中で、下毛野国をはじめて統括した大首長であったとも考えられています。

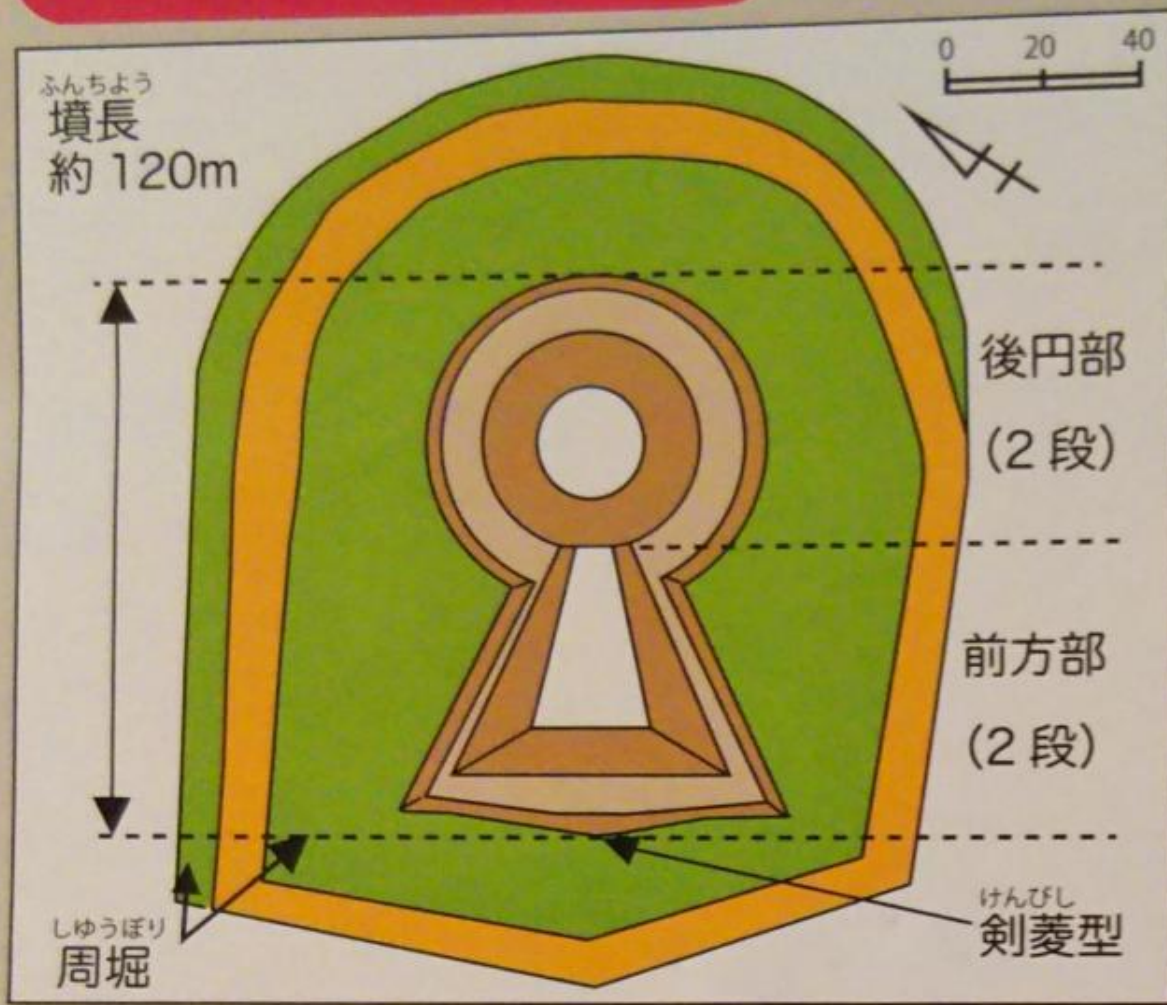
墳形 前方後円墳 全長約117m
前方部 幅約75m 高さ約7m
後円部 直径約70m 高さ約10m

昭和53年7月21日 国指定

栃木県教育委員会



摩利支天塚古墳



前方部から墳丘へ登ってみる



前方部墳頂にある鳥居



前方に後円部の墳頂にある社殿が見える/階段の少し手前が「くびれ部」



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



「くびれ部」から後円部を見たところ



これが後円部墳頂に鎮座する摩利支天社の社殿



これは振り返って見たところ



「くびれ部」から前方部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



前方部墳頂



その先の階段を見下ろしたところ



周溝跡から墳丘を見る/右手前が前方部で左奥に後円部が続く



少し近づいて見たところ



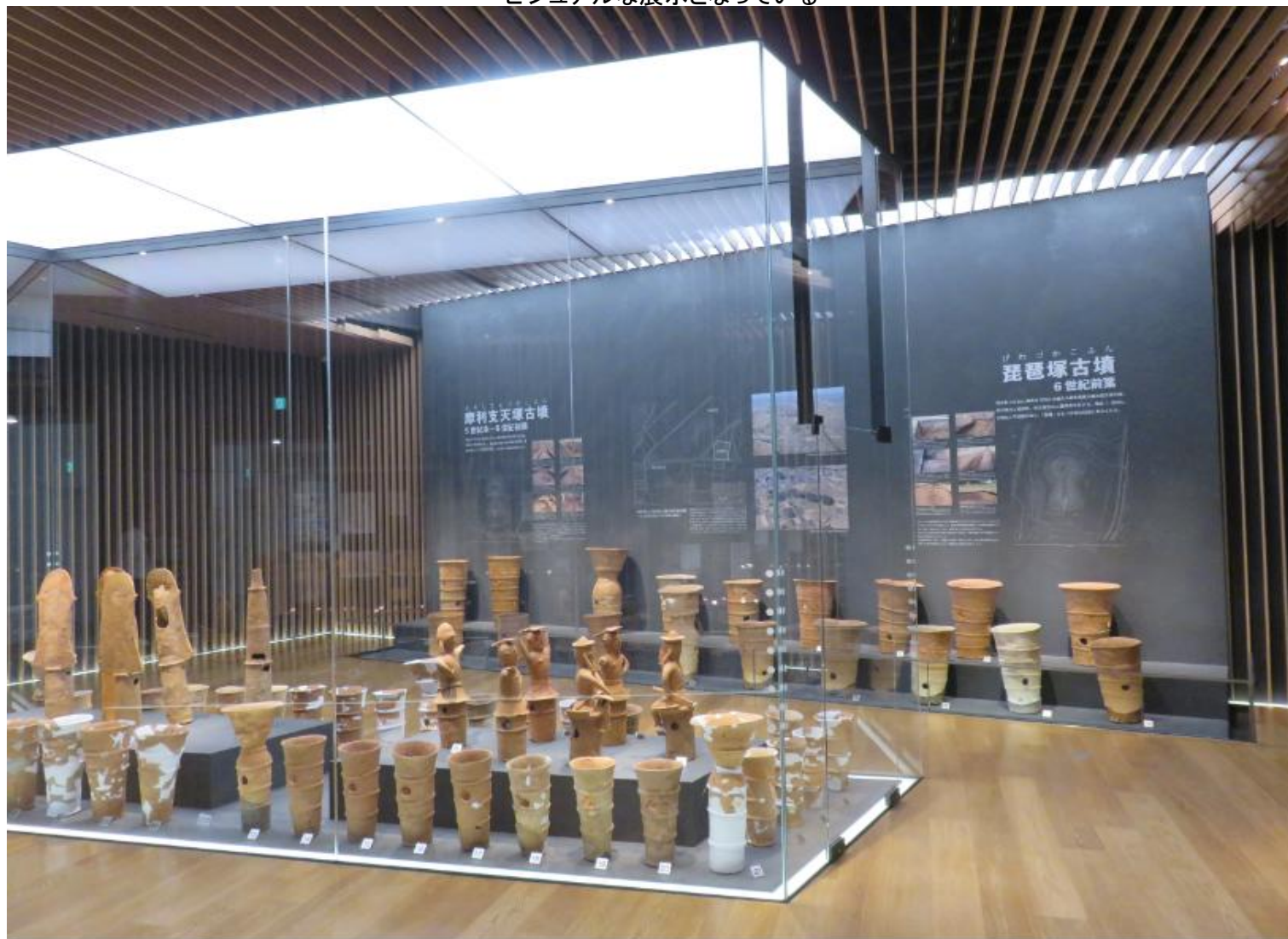
墳丘の反対側で、前方部から後円部方向を見たところ



摩利支天塚古墳と琵琶塚古墳の近くにオープンした資料館



ビジュアルな展示となっている



「下毛野の首長墓は、初め県中央部の宇都宮市周辺に築かれていたが、摩利支天塚古墳の築造を契機に、小山市北部から下野市・壬生町へ続く思川・黒川流域が首長墓の造営地となった。そして奈良時代以後も、当地は下野の中心地であり続け、下野国庁・下野国分寺・下野国分尼寺が置かれるなど、古代下野国の中心地となった」と云う/ちなみに、摩利支天塚古墳は下野薬師寺の造営に深く関わったとされる下毛野古麻呂(不詳 - 和銅2年・709年)の先祖の墓ではないかとも云われる

「摩利支天塚古墳」「琵琶塚古墳」は、思川と姿川の合流点から北へ約1kmの台地上(小山市大字飯塚)にあります。

川は、昔からひとの居住や移動・ものの輸送に重要な役割を果たしてきました。特に思川と姿川が合流するこの一帯は、肥沃な低地と平らで日当りのよい台地がいりまじっており、居住や耕作に適していたため、多くの古墳や遺跡が残っています。

| | | | |
|--|------------|--|---------|
| | 摩利支天塚古墳 | | 琵琶塚古墳 |
| | 古墳 | | 下野国分寺跡 |
| | 下野国府跡 | | 下野国分尼寺跡 |
| | 台地 | | 低地 |
| | 小山市立羽川西小学校 | | |

摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館のパンフレットより

参考ホームページ

https://blogs.yahoo.co.jp/seisyobou/40194915.html?_vsp=5pGp5Yip5pSv5aSp5aGa5Y%2Bk5aKz77vI5bCP5bGx5biC77vJ

<https://www.ensenji.or.jp/blog/4552/>

<http://blog.goo.ne.jp/nurikikaku/e/c07d65e7699b44a76a679bedb47767b9>

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2018/09/17/000000>

<https://blog.goo.ne.jp/12240106/e/96291349c16f9cc29cdd211b8ceb6334>

<https://sayama64.blog.so-net.ne.jp/2019-05-16>

